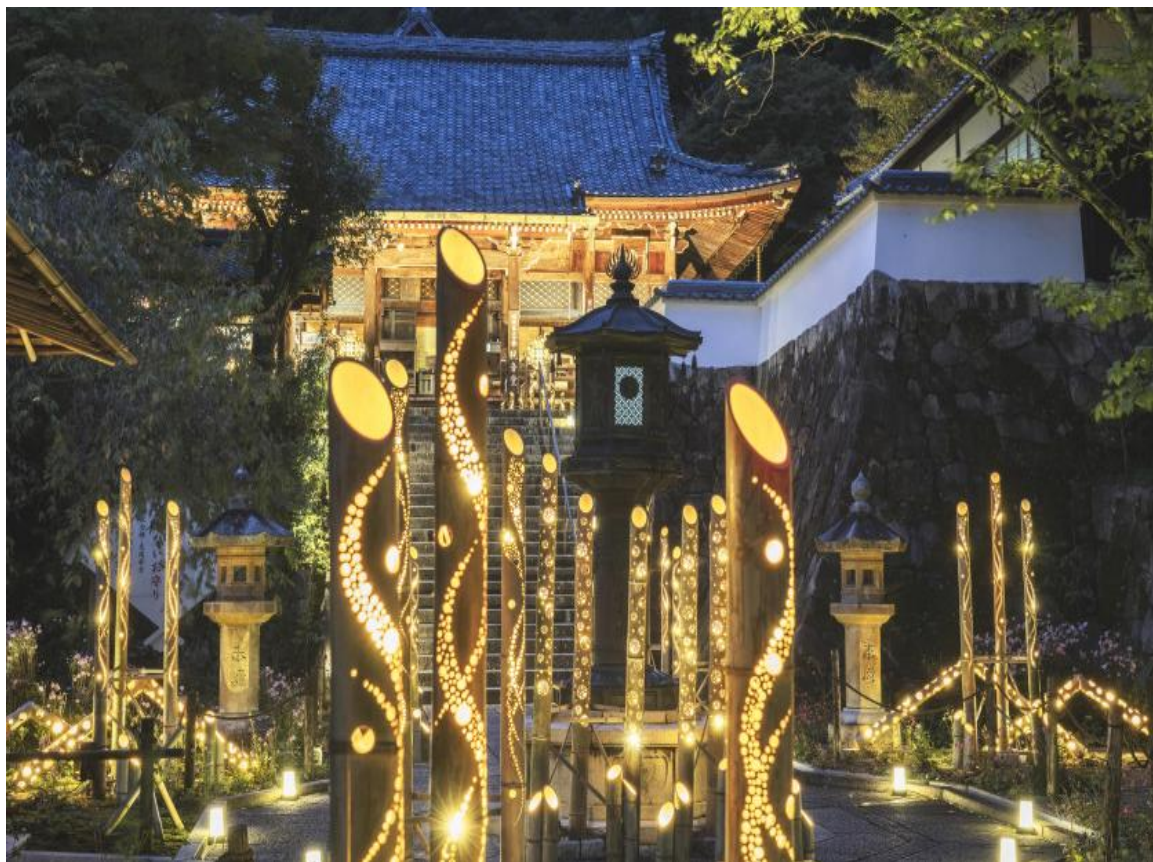


## 令和 7 年度事業報告について

文化庁連携プラットフォームにおける令和 7 年度事業報告について、別紙のとおりとする。

# 京都西山竹あかり～幻想夜2025～ 事業報告



【Ⅰ】 事業内容

【Ⅱ】 事業結果整理

【Ⅲ】 成果と課題



京都西山竹あかり  
～ 幻想夜2025 ～

supported by CHIKAKEN



## 【I】事業内容

### ○ 竹あかりの制作

- ・ 地域等からボランティアスタッフを募集し、竹への穴あけ作業などを実施。
- ・ 京都西山竹あかりは、単なる誘客イベントとして開催するのではなく、多くの人に竹あかりの制作過程に参加していただくことで、地域の長年の課題となっている放置竹林の問題を知ってもらい、解決に向けて一緒に取り組み、環境保全と地域活性化に繋がることを目指している。

### ○ 制作の概要

制作日程: 令和7年9月27日(土)、28日(日)、10月11日(土)~13日(月・祝)

会場: 元竹の里小学校内「竹とARTのボランティアセンター」

参加費: 無料

対象: 小学生以上

参加人数: のべ200人以上

※ ボランティアスタッフとして竹あかりの制作に携わってくださった方に対し、善峯寺及び楊谷寺での竹あかり開催期間中の拝観フリーパスを提供



ワークショップ  
会場の様子



## 【I】事業内容

### ○ 大歳神社における竹あかりの実施

開催日時:令和7年10月18日(土)~20日(日)

午後6時~8時30分

会場:大歳神社(京都市西京区大原野灰方町575)

拝観料:無料

内容:

- ・約1,000年前まで実際に使用されていた栢の実の油を用いて御神灯を灯す「灯明復活プロジェクト」
- ・神楽殿にてお琴や能管演奏、能(金剛流若宗家)の奉納を実施
- ・境内で採れた栢の実から抽出した希少な精油を主に香木などを組み合わせた全て天然素材で奉製された香りの御守を授与
- ・竹あかりメッセージ奉納を実施、終了後にお焚きあげを実施



大歳神社会場  
PR動画



## 【I】事業内容

### ○ 善峯寺における竹あかりの実施

開催日時: 令和7年10月31日(金)～11月3日(月・祝)、  
8日(土)、9日(日)午後6時～8時30分(午後8時受付終了)

※10月29日(金)は報道関係者向けの内覧会

会場: 善峯寺(京都市西京区大原野小塩町1372)

拝観料: 大人1,200円、高校生800円、小中学生500円

内容:

- ・経堂改修落慶法要、経堂に関する法話、善峯寺建造物係から経堂改修工事終えて裏話、経堂瓦葺き替えよもや話、「遊龍松」剪定担当からのお話など
- ・経堂、多宝塔のライトアップ
- ・寺宝館にておりんの生演奏と般若心経コラボ奉納を実施
- ・片岡鶴太郎作の鯉の襖絵特別公開
- ・紅葉のライトアップ
- ・地元店舗による飲食ブース出店

### <特記事項>

#### ○MKトラベル

- ・JR桂川駅・阪急洛西口駅と善峯寺を結ぶタクシー送迎プランを造成

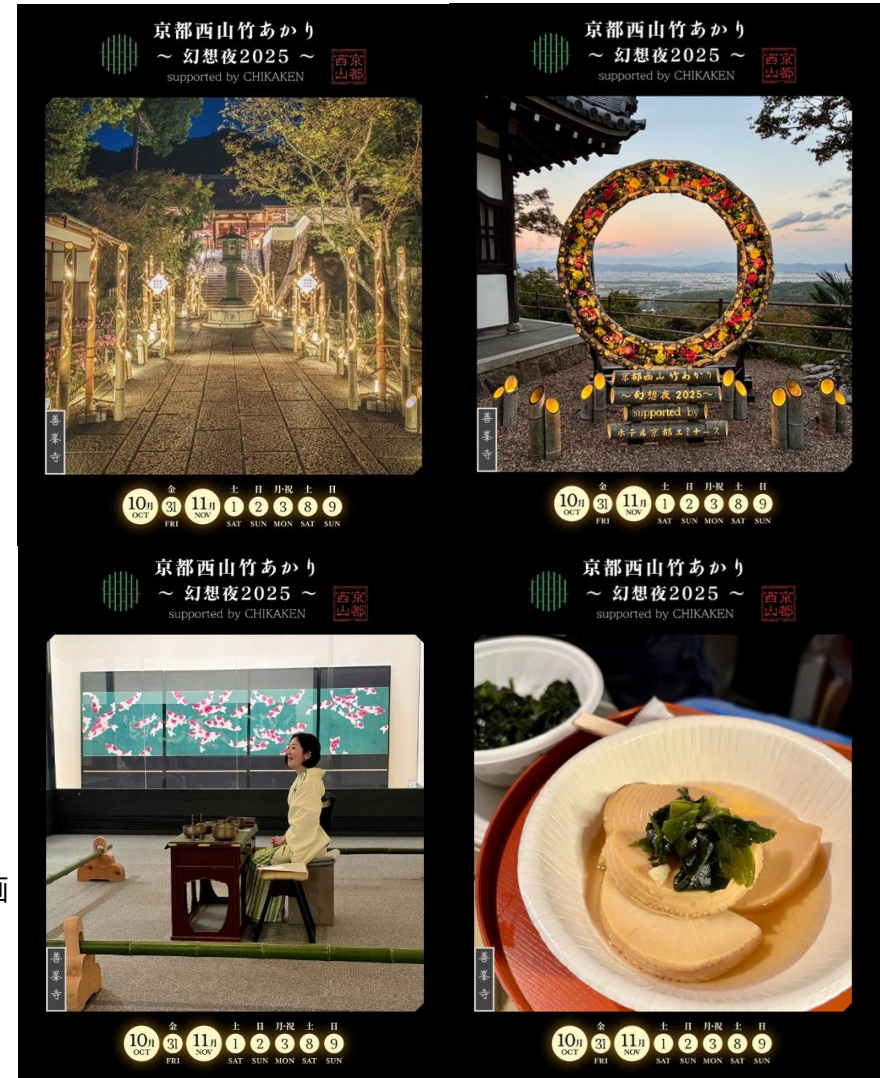
#### ○ホテル京都エミナース

- ・送迎付き宿泊プランを販売

#### ○JR東海

- ・JR桂川駅及びJR長岡京駅からEXご利用票をお持ちのお客様限定シャトルバス運行

善峯寺会場PR動画



## 【I】 事業内容

### ○ 柳谷観音 楊谷寺における竹あかりの実施

開催日時: 令和7年11月21日(金)～24日(月祝)、  
29日(土)、30日(日)  
午後6時～午後8時30分

会場: 柳谷観音 楊谷寺(京都府長岡京市浄土谷堂ノ谷2)  
内容: 花手水発祥の地である楊谷寺において、紅葉期に照明デザイナー小川ユウキ氏による浄土苑(京都府指定庭園)のライトアップと合わせて、境内各所に竹あかりを設置するとともに、上書院の特別公開を実施。また、会期中は本堂にて御住職による読経を実施

拝観料: 大人2,000円、高校生以下無料





## 【II】 事業結果整理

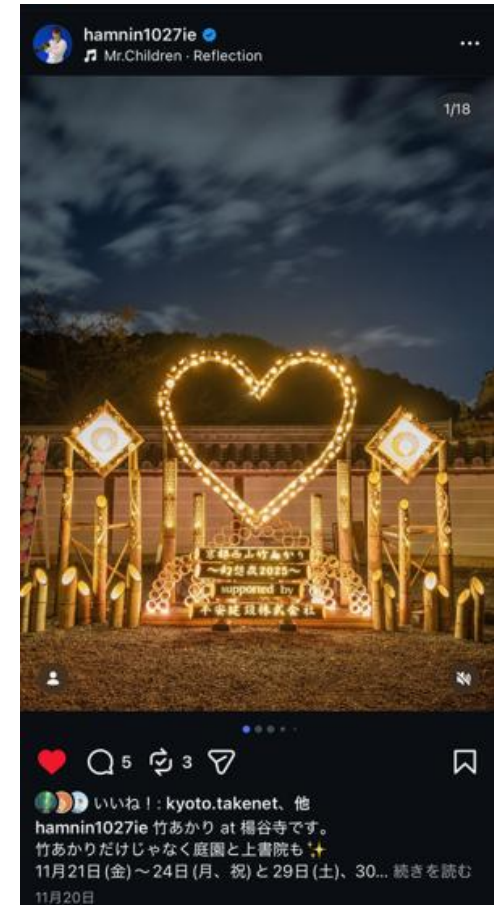
【インフルエンサー】Instagram フォロワー数50万人超えのインフルエンサーによる発信



Ayako Murase氏(令和7年10月29日投稿)



井上 裕康氏(令和7年10月17日投稿)



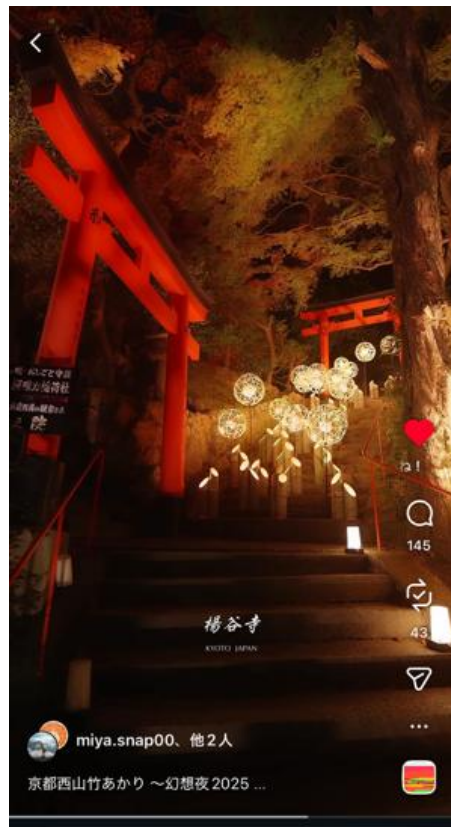
井上 裕康氏(令和7年11月20日投稿)

## 【Ⅱ】 事業結果整理

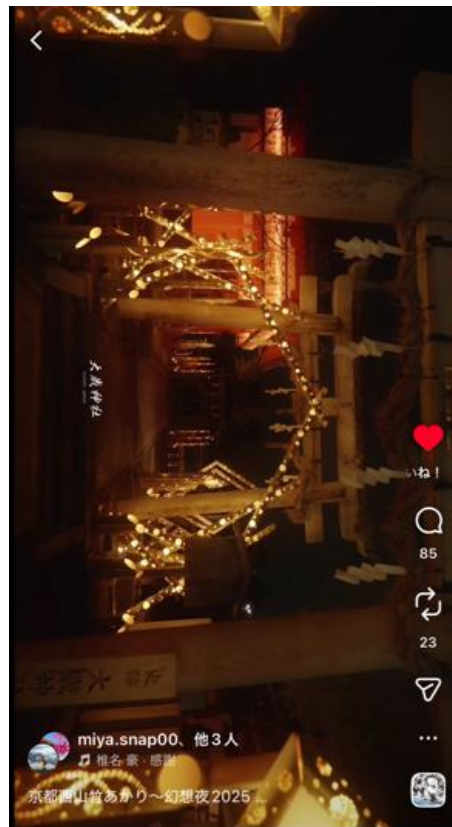
【SNSでのプロモーション動画】動画クリエイター宮西克之氏によるプロモーション動画作成及びInstagramでの発信(動画閲覧数:計42万)



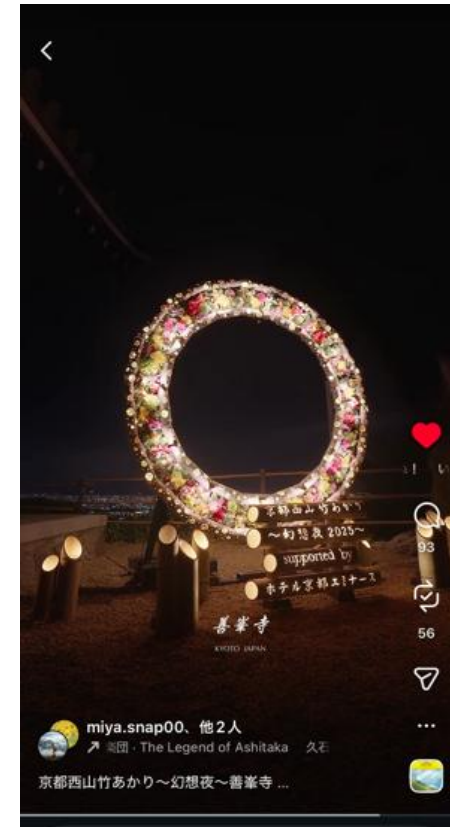
(令和7年10月10日投稿)



(令和7年10月12日投稿)



(令和7年10月18日投稿)



(令和7年10月28日投稿)

## 【Ⅲ】 成果と課題

### ○ 事業成果

分類	定性的成果	定量的成果
竹あかり ・来場者の声・満足度 (感動した点、改善点)  ボランティアの参加状況、感想 (やりがい、地域とのつながり)	<p>&lt;来場者の声&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とても綺麗でした。おりんの演奏も心が安らいで良かったです。</li> <li>・ワークショップも参加させていただき、楽しいイベントをありがとうございます。</li> <li>・交通アクセスが分かりにくかった。</li> </ul> <p>&lt;ボランティアの声&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分たちが制作した作品が寺社の境内で幻想的に輝く様子を見て、地域に対する誇りを感じた」「来場者が喜ぶ姿を見て、活動の意義を実感できた」といったポジティブな意見が多数寄せられ、地域愛着(シビックプライド)の醸成に成功した。</li> </ul>	<p>&lt;来場者数&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3寺社合計で1,551名 (善峯寺461名、大歳神社550名、楊谷寺540名)</li> </ul> <p>&lt;ボランティア応募者数(定員15名、10回)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般募集のボランティアに加えて、京都外国語大学及び洛西高校の学生が参加</li> </ul>
竹あかり ・会場となった寺社の声・満足度	<p>&lt;良かった点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寒い時期の開催だったので、温かい飲食物の提供は多くの方に喜んでいただけた。</li> <li>・新たな取り組み(おりんと般若心経のコラボ)も多くの人からお褒めの言葉をいただくことができたのが良かった。</li> </ul> <p>&lt;寺社関係者(家族、従業員、檀家等の声)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業が2年目ということもあり、事業開始当初から協力的であり、来年度以降の事業展開も視野に入れた発言も関係者の中では多く、地元に着定するように主体的に事業を続けていきたいという想いも感じ取れた。</li> </ul>	<p>&lt;参加者満足度調査の結果&gt;(善峯寺 n=48)、5段階評価で5、4を付けた人が合計で41人(85.4%)と多数を占めた。</p> <p>&lt;参考1&gt; 参拝者満足度調査の結果(5段階評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5を付けた人…25人(52.1%)</li> <li>4を付けた人…16人(33.3%)</li> </ul>
メディアの評価、PR実績	<p>&lt;メディアの評価、PR実績&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は、放置竹林の活用による社会課題解決とオーバーツーリズム対策(場所と時間の分散)、さらにはナイトタイムエコノミーの創出や地域活性化と持続可能な観光モデルを実現した点が高く評価されました。</li> </ul>	<p>&lt;主要メディア報道実績&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TV2社、CATV1社、新聞5社(8記事)、Yahoo! ニュース5記事</li> </ul> <p>&lt;PR実績&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行雑誌への特集掲載1社</li> <li>・作成チラシの配架(JR東海新幹線停車主要駅、阪急電鉄主要駅、ローソン京都市域50店舗)</li> <li>・JR東海新幹線停車主要駅にてポスター掲示</li> <li>・JR東海によるWEB広告掲載</li> <li>・インフルエンサー15名程度(総フォロワー数250万人以上)による複数回投稿</li> </ul>

### ○ 課題

コンテンツ	プロモーション
過去の竹あかりをご覧になっている方(リピーター)を感動させるためにも、質の高い竹あかり作品の展示や演出、非公開文化財の公開など、事業の付加価値を高めていく必要がある。	<p>旅行会社と話す中で、ツアー造成を行うには最低でもイベント実施の半年前には日程等の情報が必要との声が多数聞かれた。</p> <p>補助事業に採択されたらという前提付きで、竹あかりの開催日程案を早い段階で旅行代理店へ情報提供するなど、集客効果を高めるため工夫していきたい。</p>

## 寛永行幸四百年祭プロジェクト 令和7年度事業報告

### 1 寛永行幸及び四百年祭のPR・機運醸成

- 寛永行幸の認知度向上や、来年度の再現イベントの期待感を高めるため、行幸行列の一部を再現した精巧な1/4スケールのミニチュア人形展示を、二条城来城者が必ず目にする「二条城番所」にて実施するとともに、四百年祭のPR動画（多言語）も合わせて放映。

時 期 令和7年10月31日（金）～令和8年1月20日（火）

場 所 元離宮二条城・番所

内 容

- ・ 行列の主要シーンである天皇、将軍の集団を表現した人形（約100体、全長約10m）
  - ・ 背景に「二条城行幸図屏風」のレプリカを展示
  - ・ 四百年祭及び行幸行列再現イベントに関するPR動画を放映
- 人形展示企画に合わせて、二条城で実施している多言語の公式ガイドツアーを、新たに「寛永行幸」の内容も加える形で更新し、インバウンドを含む多くの来城者に御参加いただいた。人形展示終了後も継続的に実施しており、寛永をテーマにした二条城のブランディングに繋げる。

【多言語ガイドツアーの実績】（人形展示期間中）

英語版：1,056人 日本語版：831人

- 再現イベント1年前の節目に、イベントの概要とその進捗よく状況等について御案内する市民向けの説明会を開催。説明会当日は、参加者に実際に行幸ルートを歩いていただく、まち歩きも実施。

日 時 令和7年12月6日（土）午後1時～／午後3時～

場 所 京・和新庵

参加者 41名

**行列参加の先行エントリー** ※別紙チラシ参照

- 本イベントへの参加を希望するお問い合わせが数多く寄せられることから、熱量の高い関心層をしっかりと繋ぎとめるため、開催の1年前となる令和7年12月6日から、行列参加の先行エントリー（無料）を開始。
- 令和8年3月末までにエントリーをいただいた方には、4月に開始する「先行抽選」に応募いただけるほか、メルマガ等により四百年祭の最新情報をお届けしている。各種メディアで報道されたこともあり、約1,700名の方にエントリーをいただいた。

## 2 寛永文化講座・各業界との交流会

- 2年前から実施している「寛永文化講座」を、ほぼ毎月のペースで開催し、「寛永行幸」の歴史的役割や「寛永文化」の総合性や文化的価値についての理解促進を図っており、毎回定員に達するなど、好評を得ている。
- また、経済界や伝統産業業界との交流会も開催し、四百年祭の概要説明や各種プロジェクトへの参画の呼びかけを行うなど、四百年祭の共感者の拡大や、多様な主体による事業推進を目指している。

### <寛永文化講座>

	日時・内容	参加者数
1	「屏風から見る寛永行幸」 日 時 令和7年9月6日（土）午後1時30分～ 場 所 京都府公館 登壇者 実方 葉子氏（泉屋博古館 学芸部長） 山科 言親氏（衣紋道山科流若宗家 山科家30代後嗣） 西山 剛氏（京都文化博物館 主任学芸員） 松本 直子氏（元離宮二条城事務所 学芸員）	110名
2	「徳川将軍家の権威―二条城の構造と変遷―」 日 時 令和7年11月24日（月・祝）午後2時～ 場 所 京都府公館 登壇者 齋藤 慎一氏（東京都江戸東京博物館 学芸員）	68名
3	「二条城を建てた人びと」 日 時 令和8年2月22日（日）午後2時～ 場 所 京都府公館 登壇者 井上 年和氏（京都美術工芸大学 教授） 谷 直樹氏（大阪市立大学 名誉教授）	70名
4	「花洛の装い―東福門院の豪華な「きもの」―」 日 時 令和8年3月15日（日）午後2時～ 場 所 京都府公館 登壇者 河上 繁樹氏（大阪学院大学 教授）	63名

### <交流会事業>

	日時・内容	参加者数
1	寛永1626交流会（経済界との交流会） 日 時 令和7年6月20日（金）午後1時30分～ 場 所 京都ブライトンホテル 内 容 基調講演 畑 正高氏（榊松栄堂 代表取締役社長） 実施計画・進捗報告、名刺交換会	83名

2	寛永×伝統産業 事業者交流会（伝統産業事業者との交流会） 日 時 令和8年1月28日（水）午前10時～ 場 所 京都経済センター 内 容 伝統産業事業者をはじめとする幅広い方々に寛永文化、寛永行幸への理解を深めていただき、四百年前の職人たちの技術に学びながら、取組の輪を広げる。	75名
---	--	-----

### 3 観光の観点からの機運醸成

#### <説明会・ファムツアー>

- 寛永行幸、寛永文化をテーマにした旅行商品の造成や誌面企画の展開に繋げ、観光の観点から「四百年祭」の盛り上げを図るため、旅行エージェント向けの説明会や媒体社向けのファムツアーを実施。
- 説明会では、寛永バージョンに改訂した二条城のガイドツアーを参加者に対して実施するとともに、二の丸御殿において能楽師による謡を披露するなど、寛永行幸、寛永文化の魅力を深く理解いただける内容とした。
- ファムツアーでは、京都市内だけでなく、京都府域のスポットも含めた形で実施するとともに、観光地での特別見学だけでなく、今年寛永をテーマにした展示企画を行うミュージアム（泉屋博古館、松花堂美術館）での鑑賞や文化体験を交えた内容として企画した。

#### 【実施結果】

（説明会）日 時：令和8年1月20日（火）

参加者：12社（インバウンド向けDMC含む）

（ツアー）日 時：令和8年1月20日（火）～21日（水）

参加者：18社（海外旅行メディア含む）

（企画実績）

- ・ 交通新聞特集（交通新聞社）【令和8年2月12日掲載】
- ・ ウォーカープラスWEB版（KADOKAWA）【令和8年3月6日掲載】
- ・ 京都観光コンシェルジュ（エディットプラス）【令和8年3月10日発行】
- ・ KELLY 5月号（ゲイン）【令和8年3月23日発売】
- ・ クラブツーリズム旅行商品【販売中】
- ・ JTB旅行商品【検討中】
- ・ JR東海ツアーズ旅行商品【検討中】

### 4 協力・支援の呼びかけ

- 持続的な事業運営に向けて、寄付金を積極的に獲得するため、京都文化交流コンベンションビューローに寄付金の窓口「寛永1626基金」を設けるとともに、京都府においても企業版ふるさと納税の窓口を設け、四百年祭の事業全般や「特別プロジェクト（徳川家光の装束・牛車再現）」への寄付の呼びかけを行っている。
- また、行幸行列再現イベントの協賛企業を獲得するため、行列参加や礼法研修への参加等をインセンティブとして設定し、幅広い営業活動を行っている。

(寄付金・協賛金の獲得状況) 【予定含む】

	寄付対象事業	実績		内容
		件数	金額(千円)	
寄付金	四百年祭事業全般	5	30,050	5件(法人1、個人4)いずれも、寛永1626基金を活用
	特別プロジェクト (家光の装束・牛車再現)	1	30,000	京都府企業版ふるさと納税を活用し、R8年度に収入予定
協賛金	行幸行列再現イベント	2	4,000	すでにお申し出をいただいております、今後手続き予定

【寄付金】

○ 寛永1626基金

窓 口：京都文化交流コンベンションビューロー

金 額：1万円以上任意

返 礼：公益財団法人への寄付金扱いとして、税制上の優遇措置

○ 京都府企業版ふるさと納税

窓 口：京都府

金 額：任意の金額

返 礼：京都府外の企業が寄付した場合、税制上の優遇措置

【協賛金】

○ 行列再現イベント協賛

金 額：1口200万円

特 典：行列参加(10名以内)、観覧席(5名以内)、二条城での社名掲示、  
小笠原流札法指導参加、公式資料・報告書での紹介 等

# 「寛永行幸四百年祭」 行幸行列再現イベントの

## 参加者募集

いよいよ先行エントリー開始！

「寛永行幸四百年祭」では、その象徴的な事業として、後水尾天皇の行幸行列を再現するイベントを、2026年12月6日(日)に開催します。本イベントでは、文化や歴史を愛し、未来へ継承しようとする皆様方とともに数百人規模の時代行列をつくり上げてまいります。

この度、2026年5月からの本エントリーに先駆けて、時代行列参加の先行エントリーを開始します。ご登録いただいた方には、優先的なイベント参加資格や「四百年祭」に関する最新情報をお届けします。是非ご登録ください。

### 行幸行列再現イベント

寛永3年(1626)9月6日、将軍家光に導かれ、後水尾天皇ら朝廷方が御所から二条城へ赴きました。全国の大名も盛装で付き従いそのきらびやかな行列は9,000人に及んだといわれています。その主要シーンを再現する時代行列を「四百年祭」のメインイベントとして実施します。

**時期** 2026年12月6日(日)

**ルート** 京都御苑～二条城東大手門(約3km)

**内容** 行幸行列の主要シーンを数百人規模で再現  
楽人による雅楽演奏を再現

時代装束を着た参加者による特別観覧席を設置



京都市指定文化財《二条城行幸図屏風》左隻(部分)泉屋博古館

## 募集内容

### 時代行列に 参加する

数百人規模で実施する行幸行列に、当時の装束を身につけてご参加いただけます。  
京都御苑から二条城までの約3kmを練り歩く、貴重な文化体験をお楽しみいただけます。  
※ 行列の構成や配役、参加料等については、2026年1～3月に随時公表する予定です。

本イベントでは、「二条城行幸図屏風」(泉屋博古館蔵)に描かれた様々な装束の民衆も再現します。行列ルートに設ける「観覧席」で装束を身につけ、時代絵巻の一部になる体験をお楽しみいただけます。この「観覧席」の参加者も別途募集しますので、ご期待ください。

先行エントリー  
募集期間

2025年12月6日(土)～2026年3月31日(火)

### 募集の流れ

時期	スケジュール	主な内容
2025年12月6日～2026年3月31日	先行エントリー募集	応募者には4月実施の「先行抽選」の参加資格を付与
2026年1月～3月	イベント情報 随時発表	行列の構成や配役、装束の内容等を段階的に発表
2026年4月	先行抽選	先行エントリーの応募者限定で優先的に配役を決める抽選を実施
2026年5月～7月	本エントリー募集	行列の一般参加者を募集
2026年8月～9月	本抽選	本エントリーの応募者を対象に、配役を決める抽選を実施(配役確定)
2026年8月～11月	準備期間	礼法・作法研修、衣装合わせ等のイベント準備を実施
2026年12月6日	行列イベント実施	いよいよ本番

### 応募要件

- 18歳以上の健康な方
- 礼法・作法研修・衣装合わせなどの事前行事に参加できる方
- 日本文化・歴史体験に関心のある方
- イベント当日の参加が可能な方

※ 国籍・性別・居住地域は問いません。  
※ 体験を通じて歴史や文化を学び、理解を深めたい方の参加を歓迎します。

### 特典

先行エントリー応募者には、以下の特典をご用意しています。

- 応募者限定で実施する優先的に配役を決める先行抽選にご参加いただけます(2026年4月予定)。
- 実行委員会から発表する「四百年祭」関連の情報をいち早くメールでお届けします。

### 注意事項

- 先行エントリーは無料です。
- 先行エントリーのみでは、行列再現イベントの参加確定とはなりません。  
2026年4月予定の先行抽選の際に、あらためて参加のご意向を確認します。
- 先行抽選で当選された方は、参加料をお支払いいただき正式な参加確定となります  
(参加料等の詳細情報は2026年4月までに公表する予定です)。
- 行列の配役、装束の内容等は、主催者の判断により調整します。

### 登録方法

1



先行エントリー  
募集ページ



寛永行幸四百年祭公式サイト内の  
先行エントリー募集ページ  
(<https://kaneigyoko400.jp/general/>)へアクセス

2



「先行エントリー(無料)」  
ボタンからフォームに入力

3



内容確認後、  
登録完了メールが届きます。

お問い合わせ

寛永行幸四百年祭実行委員会

Tel.080-9923-4252(実行委員会事務局 土日祝除く 10:00～16:00)

絵:「二条城行幸図屏風」部分 江戸時代(京都市指定文化財 泉屋博古館蔵)

主催 寛永行幸四百年祭実行委員会

(文化庁連携プラットフォーム内)

<https://kaneigyoko400.jp/>

共催 Living History KYOTO

最新情報は公式HP・SNSでチェック!



公式HP



FACEBOOK



Instagram



X

文化庁

本イベントは、文化庁 令和7年度「文化資源活用  
事業費補助金(全国各地の魅力的文化財活用  
推進事業)」の補助を受けて実施しています。

## 寛永行幸四百年祭プロジェクト 令和8年度事業計画（案）

### 1 寛永行幸行列の再現イベント

四百年祭の象徴的な事業として、御所から二条城へ向かった後水尾天皇の壮麗な行幸行列を、文献や風俗考証に基づく本物志向の時代行列として再現するイベントを実施する。行列の参加者は、一般募集による参加者のほか、協賛企業の関係者や旅行者等により構成する。

時期：令和8年12月6日（日）

ルート：京都御苑～二条城東大手門（約3km）

内容：行幸行列の主要シーンを再現（中宮和子、将軍家光、後水尾天皇の3グループ）

楽人による雅楽演奏を再現

行列到着後は、二条城内のステージで雅楽・舞楽の披露（復曲「安城楽」）

終了後、ANAクラウンプラザホテルで参加者による懇親会を開催

その他：装束内容、行列構成等を、衣紋道 山科流の山科言親氏が監修

時代装束を着た参加者による特別観覧席を設置（200席程度）

#### 【行列の概要】

（行列構成）人間：約330名、馬：15頭、牛：2頭

① 中宮和子行列（約90名）：馬2頭、牛車1輛

② 将軍家光行列（約100名）：馬7頭、牛車1輛

③ 天皇鳳輦行列（約140名）：伶人（楽人）38名、馬6頭、鳳輦1基

（行列ルート）

京都御苑（建礼門前）出発～京都御苑（中立売門）～烏丸通南下

～下長者町通西進～堀川通南下～二条城東大手門到着

#### 行列参加者の一般募集

○ 令和8年3月末までに先行エントリーに登録いただいた方を対象に、4月から応募者限定で「先行抽選」の受付を行っている。参加料は有料で、配役により10,000～100,000円の価格帯で設定し、高付加価値な文化体験機会として提供する。4月27日現在、516名から御応募いただいている。

※ 行列参加者の枠に余裕がある場合は、7月以降に追加募集を適宜実施

○ 参加者確定後、礼法体験への参加を必須条件とし（最低1回）、日本文化の精神性に触れる機会として提供する。

○ 行列参加には至らないものの、先行エントリーに登録いただいた方には、メルマガ配信を継続し、四百年祭の情報を提供するとともに、寛永行幸・寛永文化の普及啓発を図る。

（想定スケジュール）

令和8年 5月～ 先行抽選会実施（参加者調整）

6月～ 抽選当選者からの参加料の振込開始

7月～ 行列参加者の枠に余裕がある場合は、追加募集を適宜実施

礼法体験、説明会等のイベント準備を実施

12月 本番実施

**装束観覧席（観衆役） ※別紙1 報道発表資料参照**

- 本イベントでは、「二条城行幸図屏風」に描かれた様々な装束の観衆も再現する予定で、行列ルート（京都御苑）に設ける「観覧席」の参加者は、主催者が用意するレンタルの装束を身につけ、観覧者自身も時代絵巻の一部になる体験として販売する。
- また、このイベントを契機に、寛永の風俗をモチーフにした新たな装束を詠えたいという希望者を募集し、和装団体や事業者にお繋ぎすることにより、和装の推進や伝統産業の振興、技術の継承に繋げることを目指す（調整中）。

**装束・牛車再現プロジェクト**

- 行幸行列の再現に合わせて、詳細な記録が残っている徳川家光が寛永行幸で使用した装束や牛車を読み解き、現代の職人の技術で再現・復元するプロジェクトについても実施する（本プロジェクトの予算（3,000万円規模）については、その趣旨に賛同する企業等の寄付金を計上し実施する）。
- また、本プロジェクトでは、京都の伝統産業事業者・職人が、各工程ごとに幅広く参画する予定で、その再現過程の試行錯誤や職人の取材記事を記録冊子として残すことにより、京都の伝統文化や伝統産業の振興、技術の継承に繋げる。
- 再現した装束・牛車については、このプロジェクトに賛同いただいた企業や職人等のご紹介とともに、二条城をはじめとする各所に展示する方向で調整中。

## 2 寛永文化講座

寛永時代に花開いた文化の特質を様々なジャンルの専門家に語っていただき、多角的な視点から寛永文化の総合性や現代における意義を考えていくために、令和6年から実施。令和8年度も以下の内容で実施予定。

	日時・内容
1	四百年祭 開幕記念講演会「美のかたちと空間－寛永という時代」 日 時 令和8年4月19日（日）午後1時～ 場 所 ANAクラウンホテル 登壇者 柴橋 大典氏（サントリー美術館 主任学芸員） 島 充氏（復元模型作家）
2	「芸能からみる寛永行幸-天皇と能、武家と雅楽-」【2部制】 日 時 令和8年5月17日（日） 場 所 京都学・歴彩館 登壇者 （第1部）松岡 心平氏、林 喜右衛門氏 （第2部）山田 淳平氏、小野 真龍氏
3	「二条城と寛永行幸」（仮称） 日 時 令和8年6月27日（土） 場 所 京都学・歴彩館 登壇者 笠谷 和比古氏（国際日本文化研究センター 名誉教授）
4	「外国人が見た寛永行幸」（仮称） 日 時 令和8年7月5日（日） 場 所 京都学・歴彩館 登壇者 フレデリック・クレインス氏（国際日本文化研究センター 副所長）
5	「皇室と茶の湯－後水尾天皇を中心に」（仮称） 日 時 令和8年8月2日（日） 場 所 京都経済センター 登壇者 依田 徹氏（遠山記念館 学芸員）

## 3 二条城での企画

- 「寛永行幸」の舞台となった二条城では、東大手門前に屏風型の記念看板を設置するとともに、番所においても四百年祭を盛り上げるためのPR用のクリエイティブ（パネルやタペストリー）の設置や動画の放映を行う。
- 「二条城まつり」をはじめとする年間を通じたイベントにおいて、寛永行幸、寛永文化をテーマにした企画を展開するとともに、寛永行幸ゆかりの城内スポットに新たに案内板を設置するなど、新たな観光動線の設定についても検討を進める。
- 令和7年度に寛永バージョンに改訂した多言語ガイドツアーを年間通じて実施するとともに、四百年祭を通じて開発したコンテンツやレガシーを活用した、二条城で継続的に販売できる高付加価値な文化体験の造成についても積極的に取り組む。

#### 4 京都のミュージアムとの連携

- 400年前、寛永行幸が行われた秋頃を中心に、以下の3つのミュージアムを核に、寛永行幸についての理解を深め、寛永文化の本物の美に触れることのできる展覧会を実施。
- その他、樂美術館、いけばな資料館、相国寺承天閣美術館、泉涌寺宝物館心照殿、茶道資料館、野村美術館、八幡市立松花堂庭園・美術館などの京都各地においても、「寛永」に関する展示を予定。
- 共通で使用できる展示ポップも作成し、京都のミュージアムだけでなく、全国の寛永ゆかりの地においても使用いただき、寛永をテーマにした地域連携につなげる。

##### <京都府京都文化博物館>

特別展「寛永 太平がはぐくむ美」

会 期 令和8年9月19日～11月15日

主 催 京都府、京都文化博物館、読売新聞社

内 容 寛永文化と寛永行幸を軸に、江戸時代前半に花開いた京都文化の粋を紹介

##### <泉屋博古館>

特別展「寛永行幸と花の都の文化びと」

会 期 令和8年9月5日～10月18日

主 催 公益財団法人 泉屋博古館

内 容 寛永行幸を振り返るとともに、そののち17世紀後半にかけて展開した優美な寛永文化に注目。身分を越えきら星の如く輩出した文化人たちの美意識と交流を紹介

##### <二条城障壁画 展示収蔵館>

会 期 春期、夏期、秋期、冬期の4期

公 開 春期：式台の間 夏期：大広間三の間

秋期：大広間一の間・二の間 冬期：黒書院一の間・二の間

内 容 二の丸御殿の障壁画は、後水尾天皇の行幸に先立つ大改修の際に、狩野探幽率いる狩野派の絵師たちによって描かれた。寛永行幸の際に使用された二の丸御殿の障壁画を年間4期にわたって公開。

## 5 記念事業

### 開幕記念フォーラム&レセプション

- 四百年祭のオープニングとして、各業界関係者や経済界の方をお招きした記念フォーラムとレセプションを開催。
- 四百年祭が、文化を通じて社会と世界、さらには経済の関係を編み直し、社会の基盤の再構築を目指す取組であることを関係者の間で再確認し、今後の本プロジェクトへの幅広い支援につなげる。

日 時：令和8年4月12日（日）（第1部）フォーラム：14時30分～17時  
（第2部）レセプション：17時15分～19時

会 場：ANAクラウンプラザホテル京都

内 容：（第1部）基調講演、座談（近衛忠大氏、タイモン・スクリーチ氏）  
（第2部）交流会

参加者数：計285名

### スタンプラリーや公式ガイドブックの制作

- 「寛永行幸」「寛永文化」について、より多くの方に身近に感じていただき、四百年祭への関心を高めるため、これまで2種類作成した「寛永文化ゆかりの地マップ」を活用したスタンプラリー企画を実施する。
- また、「寛永行幸」「寛永文化」をわかりやすく解説するコラムや記事、行幸行列の再現の方法や当日の楽しみ方、四百年祭の各種企画をご紹介する、比較的予備知識のない初・中級者向けのガイドブックを制作し、販売する。

#### <スタンプラリー>

時 期：令和8年5月頃から（年度末まで）

内 容：寛永文化人ゆかりの庭や、狩野派の絵画を結ぶコース等の3コースを設定（約15箇所の社寺等に協力いただく）。

#### <公式ガイドブック>

発売日：令和8年8月頃（予定）

価 格：1,000円（税別） 発行数：3,000部

### 記念式典・能楽公演

日 時：令和8年9月5日（土）

場 所：京都国際会館（調整中）

内 容：（特別講演）講師：熊倉 功夫氏

「寛永文化」の大家である熊倉氏に、公武融和がもたらした文化的平和の意義を、令和の時代における継承という視点からご講演いただく。

日 時：令和8年9月6日（日）

場 所：金剛能楽堂

内 容：寛永行幸の際、二条城において天皇と将軍が並んで能を観覧された記録に基づき、400年後の同日に奉納公演を行う。観世流の林喜右衛門氏及び、金剛流の金剛龍謹氏による共演を予定。

## 6 各団体や全国との連携

- 四百年祭では、実行委員会の構成団体をはじめとする京都の各種団体と、寛永をテーマにした内容での連携事業の実施や一体的な広報に取り組んでいる。
- また、京都だけでなく、寛永にゆかりのある全国の自治体や団体等とも連携事業の調整が進んでいるほか（別紙3参照）、Living History KYOTOにおいても、全国の各種団体や美術館などにおいて、連携事業の調査・調整を進めている。
- ※ また、民間企業においても、寛永をテーマにした中長期的な地域連携を図るため、文化庁の別の補助制度「NEXT日本博」を活用した事業提案が検討されている。

### 【現在、実施予定・調整が進んでいる主な連携事業】

#### （京都での取組）

- 京都文化交流コンベンションビューロー：古典の日フォーラム2026（令和8年11月）
- 京都市芸術文化協会：明倫茶会（令和8年11月）
- 京都市教育委員会：ジュニア京都文化観光大使20周年記念事業（令和8年11月）
- 京都商工会議所：京都・観光文化検定（令和8年12月）
- 京都市観光協会：京の冬の旅（令和9年1～3月）
- 京都古文化保存協会：京都非公開文化財特別公開（令和8年3月～5月。秋にも開催予定）
- 有斐斎弘道館：京菓子展2026－寛永行幸絵巻（令和8年10月）

#### （他府県の取組）【調整中】

- 石川県の関連事業：「寛永文化」を切り口とした加賀百万石の食と文化の魅力発信
- 富山県高岡市の関連事業：高岡御車山祭の公開展示、高岡工芸フェスタ、シンポジウム
- 全国の美術館・博物館：「これも寛永」サインを掲示依頼

#### （Living History KYOTO の調査事例）

佐賀：400年前に鍋島藩から献上された蘇鉄の植樹【調整中】

仙台、東京、静岡、熊本：講演会の開催を調整中

和歌山：寛永行幸で徳川頼宣が着用した装束の調査



< 報道発表資料 >

(府政、宗教同時)

令和 8 年 4 月 1 0 日

文化庁連携プラットフォーム

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

## 「寛永行幸かんえいぎょうこう四百年祭」行幸行列再現イベント

### 「装束観覧席」の参加者募集

寛永行幸四百年祭実行委員会では、令和 8 年（2026 年）に、寛永行幸（※）が 400 年の節目を迎えるにあたり、寛永行幸の行事を再現し、寛永文化を振り返る記念祭「寛永行幸四百年祭」を実施します。

その象徴的な事業として、令和 8 年 12 月 6 日には、後水尾天皇の行幸行列を再現するイベントを開催します。

この度、京都御苑に設置予定の特別観覧席にて、主催者等が用意する装束を身に付け、行幸行列を観覧できる「装束観覧席」の参加者の募集を、令和 8 年 5 月 1 日から開始します。

※寛永行幸：寛永 3 年（1626 年）、徳川幕府が後水尾天皇を二条城にお迎えし、5 日間に渡って様々なおもてなしを行った、江戸時代を通じて最大級とも言えるイベント。

#### 【行幸行列再現イベントの概要】

寛永 3 年（1626 年）9 月 6 日、将軍家光に導かれ、後水尾天皇が御所から二条城へ赴きました。朝廷方だけでなく、全国の大名も盛装で付き従い、そのきらびやかな行列は 9,000 人に及んだといわれています。その主要シーンを再現する時代行列を「四百年祭」のメインイベントとして実施します。

- 日 時 令和 8 年 12 月 6 日(日)  
※小雨決行・雨天中止（雨天時は屋内にて装束着用の上、代替の催しを実施）
- ルート 京都御苑～二条城（約 3km）
- 内 容 中宮和子行列、将軍家光行列、後水尾天皇行列の 3 つのグループで構成され、全体で約 3 3 0 人規模となる予定。楽人による雅楽演奏等も再現
- 開催時間（予定）

時間	内容
午前 7 時 3 0 分頃	受付開始
正午頃	出発式（京都御苑）
午後 0 時 3 0 分頃～	行列開始
午後 3 時 3 0 分～ 4 時 3 0 分頃	到着式（二条城）
午後 5 時 3 0 分～午後 7 時頃	四百年祭祝宴（行列参加者・関係者のみ）

**【「装束観覧席」参加者募集について】**
**● 募集内容**

行幸行列の様子を伝える「二条城行幸図屏風」(泉屋博古館蔵)には、思い思いの装束で、沿道で行列を見物する大勢の観衆が描かれています。

行幸行列の再現イベントでは、その様子も再現するため、京都御苑に設置予定の特別観覧席にて、主催者、または御自身で用意する装束を着用し、「観衆役」として行幸行列を御覧いただく参加者を募集します。

**● 参加コース・料金**

コース・金額	装束のイメージ	内容
Aコース (30万円)		「二条城行幸図屏風」を基に、主催者が四百年祭のために誂えたレンタルの装束を身に付け、観覧席にて御参加いただきます(かつら・メイク付き)。
Bコース (3万円)		主催者で御用意するレンタルの装束を身に付け、観覧席にて御参加いただきます。
Cコース (1万円)		御自身でお持ちの装束を身に付けて、観覧席にて御参加いただきます。

※A・Bコースの装束はレンタルで、返却いただきます。

※Cコースの装束は、「二条城行幸図屏風」に描かれた観衆や当時の風俗をイメージしたものを御用意ください。

※いずれのコースとも、観覧席への御参加に加えて、以下のサービスが含まれます。

- ①行列イベント前後も、装束姿のまま散策いただけます。
- ②行列到着後に、二条城内で開催する到着式に御参加いただけます。二の丸御殿にも御入場いただけます。
- ③記念写真を進呈いたします。

**● 受付開始予定日**

令和8年5月1日(金)

**● 受付方法等**

詳細は後日、公式ホームページ(URL: <http://kaneigyoko400.jp>)で発表

**【(参考)「行幸行列再現イベント」の一般参加者募集】**

令和7年12月6日から令和8年3月31日まで、行列の一般参加者募集の先行エントリーを実施。応募いただいた方には、四百年祭に関する最新情報をメルマガ配信するほか、優先的に配役を決める「先行抽選」への参加資格を付与する内容で募集をしたところ、約1,700人が応募。現在、応募者限定で「先行抽選」の受付を行っています。

**● 行列参加の募集スケジュール（予定）**

時期	スケジュール	主な内容
令和7年12月6日 ～令和8年3月31日	先行エントリー募集 (無料)	応募者には4月実施の「先行抽選」の参加資格を付与
令和8年1月～3月	イベント情報 随時発表	四百年祭関連の最新情報を随時発表
令和8年4月	先行抽選	先行エントリーの応募者限定で優先的に配役を決める抽選を実施
令和8年7月	本エントリー・本抽選	配役を決める抽選を実施 (配役確定)
令和8年7月～11月	準備期間	礼法・作法研修等のイベント準備を実施
令和8年12月6日	行列イベント実施	いよいよ本番

**● 先行抽選受付締切**

令和8年5月8日(金)まで










※受付締切後、抽選を行い、令和8年6月8日(月)に抽選結果を通知予定。

**● 募集人数**

200名程度

**● 参加費（詳細は公式ホームページ（URL：<http://kaneigyoko400.jp>）参照）**

金額	配役	
1万円	 <p><b>【白張姿】</b>  <small>はくちよう</small>            白丁・傘持ち・舎人・駕輿丁等</p>	
	 <p><b>【雑色姿】</b>  <small>ざいしき</small>            退紅、雑色等</p>	 <p><b>【褐衣姿】</b>  <small>かちえ</small>            車副</p>

3万円	 <b>【布衣姿】</b> 旗持ち、布衣	 <b>【素襖姿】</b> 長刀持ち、 烏帽子着
	 <b>【褐衣姿】</b> ずいじん 隨身	 <b>【狩衣姿】</b> 中宮職、布衣
5万円	 <b>【袷姿】</b> 女中 (市女笠あり)	 <b>【大紋姿】</b> 帯刀
	 <b>【赤衣・鳥兜姿】</b> 隼人の兵士	 <b>【褐衣姿】</b> 中宮隨身等
10万円	 <b>【打掛姿】</b> 女中 (メイク・かつら付)	

※参加費には、以下が含まれています。

- ・装束代 (レンタル)
- ・昼食代 (軽食)
- ・事前研修として実施する礼法／作法研修・行列運営費
- ・二条城への入城費 (到着式参加、二の丸御殿入場)
- ・行列終了後の四百年祭祝宴 (食事付き) への参加
- ・イベント保険料

※参加費の一部は、二条城の本格修理や文化財の保存継承に充てられます。

● 参加資格

- ・満18歳以上で、約3kmの行列コースを自力で安全に歩行できる体力を有する方
- ・主催者が指定する事前の礼法・作法研修に、1回以上御参加いただける方
- ・日本文化および歴史体験に理解と関心を有する方
- ・イベント当日、指定された時間・場所にて参加が可能な方

- ・主催者が定める安全管理および運営上の指示に従っていただける方
- ・心身ともに健康な状態で参加でき、長時間の屋外行事に支障のない方
- ・個人情報取得規約および申込規約に同意いただける方
- ・国籍・性別・居住地域は問いません。

● 運営

主催：寛永行幸四百年祭実行委員会（文化庁連携プラットフォーム内）

共催：一般社団法人 Living History KYOTO

【寛永行幸四百年祭実行委員会について】

行政、経済界、文化関係団体等で構成するオール京都の組織「文化庁連携プラットフォーム」内において、令和7年8月に立ち上げた「寛永行幸四百年祭」の実行組織。令和7年度は、各種の機運醸成事業を実施し、本番となる令和8年度は、行幸行列の再現イベントや、二条城での各種展示・企画等を実施する。

構成（令和8年4月現在）

京都府、京都市、京都商工会議所、一般社団法人 京都経済同友会、元離宮二条城事務所、公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー、公益財団法人 京都文化財団、公益財団法人 京都市芸術文化協会、公益社団法人 京都府観光連盟、公益社団法人 京都市観光協会、株式会社 京都新聞 COM

<本事業に関するお問合せ先>

寛永行幸四百年祭実行委員会（文化庁連携プラットフォーム内）

メールアドレス：info@kaneigyoko400.jp

<報道機関からのお問合せ先>

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

電話番号：075-222-4200

メールアドレス：bunka@city.kyoto.lg.jp

## 都道府県・市町村との連携について

## 【石川県】

石川県立美術館に常設展示されている国宝「色絵雉香炉」や国無形文化財「加賀料理」を核に寛永文化を切り口とした加賀百万石の食と文化の魅力発信

<連携事業>

## ■雉香炉を活用した観光客向けコンテンツ

## ①石川県立美術館での観光コンテンツ（9月～12月頃を予定）

国宝「色絵雉香炉」の学芸員解説、一般向けに行っていない雉香炉のVRモデル体験等の実施。

## ②アンテナショップイベント（9月頃を予定）

大阪の「ホクリクプラス」にブース出展し、チラシなどを置いて、京都・石川の寛永行幸関連の広報を実施。

## ③県民文化の日のワークショップ（10月18日）

県立美術館コレクション展が無料となる「県民文化の日」に合わせ、館内で雉香炉の関連ワークショップを実施。

## ④京都・石川のトークイベント（調整中）

両府県における寛永期の文化等をテーマにしたトークイベントを実施。石川会場は、前田利常ゆかりの小松市で開催を検討。

## ■寛永行幸四百年祭を契機とした京料理・加賀料理の魅力発信

## ①京料理技術保存会・加賀料理技術保存会の連携による特別イベント（調整中）

京料理・加賀料理の担い手同士の交流促進や県内外への魅力発信を目的としたトークイベントを実施。

## ②【京都・石川】めぐる会の連携イベント（調整中）

県内外の方に京料理×加賀料理の魅力を体感する機会を創出し、料理関係者の相互交流を促進。



## 【富山県高岡市】

京都にルーツがある「二番町御車山（模型：1/3 スケール）」の公開展示や寛永文化をテーマにしたシンポジウムの開催を通して、京都と高岡の繋がりや文化の魅力発信

<連携事業>

- ①高岡御車山祭「二番町御車山」（模型：1/3 スケール）の公開展示（調整中）  
京都伝統産業ミュージアム（みやこめッセ）などの施設に「二番町御車山」を展示。
- ②高岡工芸フェスタの開催（調整中）  
「二番町御車山」（模型：1/3 スケール）の公開展示に合わせて、高岡市を中心とする富山県の工芸品の展示・販売。
- ③シンポジウムの開催（調整中）  
高岡市の施設を会場に寛永文化と御車山をテーマにしたシンポジウムを開催し、京都と高岡の繋がりや寛永文化の魅力を発信。



高岡御車山祭  
「二番町御車山」  
(模型：1/3スケール)  
高岡市美術館  
における展示風景  
(2020年)

## 【その他】

京都だけにとどまらず、「寛永行幸」をきっかけに全国に伝播した「寛永文化」に関連する文化資源や取組等を「寛永行幸四百年祭」における一体的な取組として、連携・情報発信するため、令和8年2月10日から都道府県及び政令市に対して、「寛永文化にゆかりのある文化資源」や「寛永文化と結び付けられそうな既存の取組」についての照会を行っており、今後、回答いただいた都道府県等と連携した取組ができるように調整を進めていく。

# 文化庁連携プラットフォーム 生活文化プロジェクト事業 実施報告書

## <概要>

時期：2025年11月

会場：京・和新庵～文化と産業の交流拠点～

概要：京都企業に勤めるビジネスパーソン等に対し日頃から文化に親しむ環境を充実させることで、京都に根付く文化の知識を深め文化を通じた京都ならではの人的資源を育成することを目指し、幅広く文化の体験機会を創出するプログラムを実施した。

## <実施内容>

### ①煎茶体験

煎茶独特の道具やしつらえ、所作、お茶席等を体験し、ビジネスシーンに活かせるコミュニケーション能力を学ぶプログラム

【開催日】2025年11月1日（土） 【参加者数】30人

【実施者】三清庵 小川後楽堂 代表 小川流煎茶家元 小川後楽

【参加者の感想】「上下関係などの立場を超えた距離感を掴むことを学べた」、「煎茶の作法や道具・空間づくりを通して相手への心遣いを表すことができると学んだ」等



### ②演劇体験

演劇で使われる身体表現の技術を体験し、プレゼンテーションなどビジネスシーンに役立つ表現力やコミュニケーション力を高める方法を学ぶプログラム

【開催日】2025年11月8日（土） 【参加者数】15人

【実施者】一般社団法人アーツシード京都 代表理事 吾郷 賢

【参加者の感想】「演劇の呼吸方法や歩行動作を実際に行うことで感情のコントロールができた」、「場の空気を作り言葉を使わずとも相手に伝える方法について体験できた」等



### ③eスポーツ・メタバース体験

文化財・美術や広告宣伝に活用されているメタバースや、企業の組織作りに活用されているeスポーツを体験し、ビジネスとの接点につなげるプログラム

【日時】2025年11月17日（月） 【参加者数】25人

【実施者】エスフラックス・Kyotoデザインスタジオ 代表 木多 資郎

【参加者の感想】「自社のビジネスとメタバースの親和性の高さを実感した」、「eスポーツがチームプレイや企業PRでビジネスに活用できるツールであることを体験できた」等



### ④いけばな体験

生け花のデモンストレーションの見学や体験をし、「省略」「季節」など華道の思想を学び構成力や決断力などビジネスとの接点につなげるプログラム

【日時】2025年11月30日（日） 【参加者数】32人

【実施者】華道家元池坊京都支部 引立教授 小池 美由希

【参加者の感想】『引き算』で空間を創る考え方がビジネスにも通じることを学んだ』『生け花』、『人』、『ビジネス』について多面的な学びが楽しくできた」等



## <広報>

京都経済4団体（京都商工会議所、（一社）京都経営者協会、（一社）京都経済同友会、（公社）京都工業会）において、各団体会員宛に案内を行ったほか、京都商工会議所のホームページ・SNS等を通じて告知・報告とともに、京都企業・ビジネスマンに対して広く文化にかかわる情報を発信した。参加者からもSNSでプログラムに参加した感想等が発信されている。

### ・告知（広報チラシ・京都商工会議所ホームページ・Instagram）

**ビジネスマンのための文化体験プログラム**  
**文化×表現×テクノロジーで**  
**次世代人材のビジネス感性を磨く**

＜参加費＞ 無料  
 ＜会場＞ 京・和祈庵  
 ～文化と産業の交流拠点～（旧富岡鉄斎邸）  
 京都市上区室町通一乗下ル東町町 429

伝統的な生活文化「煎茶」「草道」や芸術文化の「演劇」、最新文化の「eスポーツ・メタバース」など多様な文化体験を通じて、ビジネスシーンに直結するコミュニケーション力・表現力・意思決定力などのスキルを実践的に学び、自社の広告宣伝やブランディングにも活かせるヒントが習得できるセミナーです。

＜プログラム＞ ※各回先着順、早急申込可 >

**11/1（土）煎茶**  
 ①10:00～12:00 ②14:00～16:00  
**煎茶道の風雅に触れ、「コミュニケーション」を学ぶ**  
 煎茶道の所作やしつらから、相手との距離感や間合いなどの「非言語コミュニケーション」を学びます。  
 講師：小川 慶彦 氏  
 （小川龍斎茶七世家傳）  
 定員：各回15名

**11/8（土）演劇**  
 ①10:00～12:00 ②14:00～16:00  
**演劇技法から「存在感」「伝達力」を学ぶ**  
 人と空間を動かす演劇の技法から、自身の「存在感」の把握と、感情を察して「伝える力」を習得します。  
 講師：あごうさとし 氏  
 （一般社団法人アーツシード京都 代表理事）  
 定員：各回20名

**11/17（月）eスポーツ・メタバース**  
 19:00～21:00  
**最新のデジタル文化から「組織づくり」「広告戦略」を学ぶ**  
 eスポーツやメタバースなどを体験し、組織づくりに関する要素や最新の企業広告の事例を学びます。  
 講師：京都学生eスポーツ協会  
 （運営：エスフラックス Kyotoデザインスタジオ）  
 定員：40名

**11/30（日）生け花**  
 ①10:00～12:00 ②14:00～16:00  
**華道から「省く美」「構成力」を学ぶ**  
 華道における「省く」「省略感」「空間構成」などの美意識を学び、情報整理力や意思決定力を養います。  
 講師：小池 美由希 氏  
 （華道家元池坊京都支部 引立教授）  
 定員：各回20名

主催：文化庁連携プラットフォーム  
 【事務局・お問い合わせ先】  
 京都商工会議所 特別プロジェクト推進室  
 Tel: 075-341-9755（平日9～17時） Mail: oji@kyo.or.jp

【ビジネスマン向け文化体験プログラム】eスポーツ・メタバース体験～最新のデジタル文化から「組織づくり」「広告戦略」を学ぶ～

開催日	2025年11月17日（月）
開催場所	京・和祈庵～文化と産業の交流拠点～（旧富岡鉄斎邸） （地下鉄丸太町今出川駅 徒歩5分）
チラシ	チラシ掲載ページへ

内容

「若者向けの娯楽」「ゲームの世界」といったイメージが強いeスポーツやメタバースですが、近年、プロモーションや人材育成などの分野において実践的なビジネスツールとしての活用が進んでいます。

たとえば、eスポーツではチームプレイを通じて組織づくりやコミュニケーション研修に活用されているほか、メタバースでは仮想空間内での広告掲出により若年層など従来の手法では届きにくかった層との接点を生み出すなど、様々な場面でビジネスでの活用が進んでいます。

本イベントでは、京都を舞台にしたメタバース空間を作成し大阪・関西万博にも出展した、京都学生eスポーツ協会（運営：エスフラックス Kyotoデザインスタジオ）からeスポーツ・メタバースの活用事例を紹介し、実際にコンテンツも体験することで、自社の組織づくりや広報・PRにeスポーツやメタバースがどう活かせるかを考える機会を提供します。

▶ お申し込みはこちら



kyoto\_cci

11月17日開催！**ビジネスマン向けeスポーツ・メタバース体験**

「若者向けの娯楽」「ゲームの世界」といったイメージが強いeスポーツやメタバースですが、近年、プロモーションや人材育成などの分野において実践的なビジネスツールとしての活用が進んでいます。

たとえば、eスポーツではチームプレイを通じて組織づくりやコミュニケーション研修に活用されているほか、メタバースでは仮想空間内での広告掲出により若年層など従来の手法では届きにくかった層との接点を生み出すなど、様々な場面でビジネスでの活用が進んでいます。

本イベントでは、京都を舞台にしたメタバース空間を作成し大阪・関西万博にも出展した、京都学生eスポーツ協会（運営：エスフラックス Kyotoデザインスタジオ）からeスポーツ・メタバースの活用事例を紹介し、実際にコンテンツも体験することで、自社の組織づくりや広報・PRにeスポーツやメタバースがどう活かせるかを考える機会を提供します。

### ・実施報告（京都商工会議所 Facebook）

京都商工会議所  
 2025年11月14日

【11/8ビジネスマン向け文化体験プログラム「演劇技法から「存在感」「伝達力」を学ぶ」開催】  
 ビジネスマンを対象に、文化体験を通じてビジネスに活かせるスキルを学ぶプログラムの一環として、（一社）アーツシード京都 代表理事 あごうさとし氏を講師に迎え講座を開催しました。

当日は、演劇における基本動作である「立つ」「歩く」を、呼吸法を取り入れたボディーワークを通じて体験し、プレゼンテーションや商談などのビジネスシーンにおいて役立つ「存在感」をいかにコントロールするか、それが他者からどのように見えるかを学びました。

次回は11/17（月）にeスポーツ・メタバース体験として、最新のデジタル文化から「組織づくり」や「広告戦略」を学ぶ講座を開催しますので、ぜひご参加ください！  
[https://www.kyo.or.jp/kyoto/ac/event\\_124531.html](https://www.kyo.or.jp/kyoto/ac/event_124531.html)  
 #京都 #kyoto #京都商工会議所 #商工会議所 #文化 #演劇 #ビジネスマン #eスポーツ #メタバース



**ビジネスマン向け文化体験プログラム**

**演劇技法から存在感・伝達力を学ぶ**

### ・参加者の声（X）

今日は、旧富岡鉄斎邸こと京・和祈庵～文化と産業の交流拠点～で朝活？して来ました😊

文化庁連携プラットフォーム主催(事務局：京都商工会議所)の「ビジネスマンのための文化体験プログラム～演劇技法から「存在感」「伝達力」を学ぶ」という講座に参加。

講師は、アーツシード京都の代表理事のあごうさとしさん。

呼吸と歩き方という、基本中の基本を改めて学びました。

グラウンディングや哲学的な「存在感」もですが、歩くだけであんなにも色んな事が人に伝わっていると言うか、伝わってしまうと言う事が大きな学びでした。

本人が意図してなくても、伝わっている。それは緊張なり、性格なり、癖なり。それが呼吸と正しい姿勢で、イメージを持って歩くだけであんなに変わるのかと言う驚き。

また、正しい姿勢で歩くだけで、カッコよく見え、堂々として見える不思議。逆を言えば、強烈な個性は薄まるということ。ニュートラルな状態に、色んな感覚のバランスをコントロール出来るようになると、その時に相手に伝えたいキャラクターを演じられるということなんだなと思いました😭

色々腑に落ちました。これは今後マスターしていきたいです💪

講座の会場は床が竹で、足裏に刺激があって、歩く時間も新鮮でした。

令和7年度文化庁連携プラットフォーム  
文化のこころ継承プロジェクト

令和6年度の総会において、文化を社会のあらゆる分野に活かした新たな潮流を生み出すための取組の一つとして、古来、日本人が大切に守ってきた自然との関わり、人への思いやり、礼儀、周辺への気遣いなど、伝統的な日本文化のこころを次世代に継承する「文化のこころ継承プロジェクト」を計画。

当プロジェクトについては、文化庁委託事業※を活用する形で文化庁と連携するとともに、関係機関の御協力をいただきながら、実施。

※【文化庁委託事業】令和7年度文字・活字文化資源活用推進事業（R7 新規事業）

地域における文字・活字文化の発信拠点・担い手である書店、出版社、文学館、図書館、大学等関係機関が連携し、協働するなどして実施する特色ある取組（地域に存する文芸作品等を活用した取組等）を支援し、文字・活字文化の振興モデルの構築に向けた調査研究を実施する。

## 1 プロジェクトの概要

日本人が古来大切に守り育んできた伝統的な日本文化のこころを次世代に継承し、文字・活字文化の振興に繋げることを目的に、京都府書店商業組合と連携して、「KYOTO BOOK PARK2025」※を開催。

※KYOTO BOOK PARK2025 開催概要

開催日：令和7年11月8日（土）、9日（日）

開催場所：梅小路公園七条入口広場（京都市下京区観喜寺町 56-3）

内容：大学サークルによる絵本の読み聞かせ会、朗読コンテスト受賞者による朗読会、書店・図書館・梅小路公園を繋ぐスタンプラリー 等

主催：京都府書店商業組合

共催：文化庁連携プラットフォーム、出版文化産業振興財団

## 2 事業内容

### (1) 実施体制

- 京都府書店商業組合を中心に、文化庁連携プラットフォームの構成団体が連携
- 京都府内の書店、図書館、大学等が事業実施に協力

(2) 連携事業実施内容

<KYOTO BOOK PARK2025（メインイベント）内で行う取組（11月8日、9日）>

○ 大学サークルによる絵本の読み聞かせ会

子どもとその保護者を対象に、京都府にまつわる童話や昔話の読み聞かせを行い、文字・活字文化に親しむ機会の創出を図る。

（協力団体）

・嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学「あらし山びこ」（11月8日出演）

・京都華頂大学・華頂短期大学「ぐりとぐら」（11月9日出演）

○ 「古典の日」朗読コンテスト受賞者による朗読会

日本語の美しい表現やリズムを体感し、古典の素晴らしさや古典に親しむ大切さを知る機会を創出することで、古典に宿る日本文化の次世代継承を図る。

（協力団体）

・公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー

○ 古典を読み解く文化講座

古今和歌集などの古典を通じて、日本人が大切に守ってきた自然との関わり、人への思いやり、礼儀、周辺への気遣いなどの理解を深め、日本文化の興味・関心の向上を図る。

（協力団体）

・京都府書店商業組合、一般社団法人日本書籍出版協会京都支部

<文字・活字文化の発信と気運醸成を図る取組（10月～11月）>

○ 京都府内の図書館に京都に伝わる伝承・昔話、京都ゆかりの作家や京都を舞台にした小説などをテーマにした展示コーナーの設置

○ 図書館の自主事業等に「KYOTO BOOK PARK 2025 開催記念」の冠を付記

○ 京都府内の書店、図書館、梅小路公園を繋ぐスタンプラリーの実施

（協力団体）

・京都府内の公立図書館・書店

・京都華頂大学・華頂短期大学図書館

・嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学図書館